

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成30年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成30年11月22日（木）14:00～15:15

会 場 北九州市庁舎15階 15C会議室

平成30年度第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

平成30年度第3回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成30年11月22日(木) 14:00～15:15

会場 北九州市庁舎15階 15C会議室

3 出席委員(五十音順)

今泉 恵子、田籠 亮博、中尾 美佐、松田 亨、森江 由美子

4 議事

(1) 平成30年度第2四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 平成30年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成30年度第2四半期に契約をした工事の中から、森江委員が10件(契約課契約分8件、西部整備事務所契約分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、予定価格が6億円超えの議会案件だが、落札率が94.48%と高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 総合評価方式を適用したが、この方式は技術点と価格の両方を勘案して評価値とするもので、今回は結果的に技術点が高い業者が落札することになったため、比較的落札率が高くなったと考えている。この方式では、基準価格未満であっても失格になることはないが、基準価格を下回るほど、評価値が下がることになっている。

(問) 総合評価、指名競争入札による土木工事だが、落札したのが市外業者で落札率が98.01%と高く、辞退者等も多いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) PC橋架設工事に関する豊富な施工経験や高度な技術が求められる工事だった。市内では対応できる業者が少なく、競争性を確保するために、市外業者を含めた23者を指名したが、非常に難易度が高い工事であったことから、結果的に2者のみの応札になり、競争性が十分には確保されなかったことが考えられる。

(問) 一般競争入札による建築工事で、落札率が96.60%と高く、参加業者が4者しかいないため、競争性の確保ができていたかの検証を含めて詳しい入札状況を知りたい。

(答) 小倉城は、バリアフリー化のためエレベーターを取り付けることになっている。今回はそのエレベーターが通る通路を作る工事だが、お城の中の工事であるため大型の機械を搬入できず、また、お城に傷をつけないような配慮も必要であった。よって、作業は基本手作業となり、業者からは敬遠されやすい工事であったと思われる。入札は、一般競争入札を実施しているため、業者自体は広く募っており、競争性の確保はできていたと考えるが、先に述べた理由から、1者のみの応札となったと思われる。なお、一般競争入札では、競争性の確保はできているため、1者の応札でも入札は成立する。

(問) 一般競争入札による管工事で、落札率が99.23%と非常に高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 11者が応札し、9者が最低制限価格を下回り失格になった結果、予定価格に近い同額で応札した2者が残り、くじ引きとなった。今回はランダム係数が、1.005と現在あるランダム係数の中で最大値であったため、最低制限価格を下回る業者が多かったと考えられる。ランダム係数を設けている限りこのような事態は生じるものであり、たびたび議論されてきたところではあるが、やはり情報漏洩を防止する意味で、市としては必要な措置と考えている。

(問) ランダム係数はどのようにつけられているのか。

(答) 応札が終了した後に、機械が自動的に選んでいる。係数は1.0001から1.005までの50通りある。

(問) 指名競争入札による電気工事だが、指名が22者の割には落札率が高く、敬遠されがちな工事であるのか等を含め、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 小倉北区と小倉南区のBCランクの22者を指名したが、このうち10者が応札し、2者が最低制限価格を下回ったため失格になっている。ランダム係数は中間値を上回っており比較的高かったことから、落札率が高めになったと思われる。同日の空調設備工事は4件あり、これらを全般的に見ても応札が少ないということはなく、敬遠されがちな工事ではないと考えている。

(問) 指名競争入札の管工事だが、本来金額的に一般競争入札とするところ指名競争入札とし、43者と多数指名した必要性などを知りたい。

(答) 学校の大規模改修と空調設備設置工事であり、7月3日に指名競争入札の開札を行っているが、当該案件は6月12日にも一般競争入札で入札を実施している。その時は応札者全員が最低制限価格を下回り、入札が成立しなかった。授業に支障をきたさないように夏休み中に主たる工事を終わらせる必要があったため、一般競争入札より2週間ほど期間を短縮できる指名競争入札を行うことにした。今回指名業者は、全市の管工事のAランクを指名した結果、43者となった。

(問) 指名競争入札による機械器具設置工事だが、落札率が52.18%と極端に低いと、品質の確保という面から見て妥当な入札であったのかを知りたい。

(答) 当該工事では工場製作物の割合が高いため、最低制限価格は設定していなかった。落札率が低かったのは、あくまで企業努力の結果であり、品質の確保はできていると考えている。

(問) 随意契約による機械器具設置工事で、予定価格が1億円以上と高く、落札率も97.12%と高い契約になっている。特命随意契約を行うまでに、他の業者ではできないかという検証が適切に行われたかを知りたい。

(答) 一般廃棄物を特殊な技術により溶解処理するとともに、JIS規格品の溶解スラグを製造するプラント設備の修繕工事であり、プラントメーカーが保有する技術で修繕を行わなければ、重大な事故に発展する恐れがあった。今回特命をした業者は、当施設を設計、製作した会社の整備を行う系列業者であることから、設計、製作者が保有する高度な技術と知識を有しており、現場にも精通していることから、短期間で確実な施工が可能な唯一の業者であると判断した。

(問) 指名競争入札による造園工事だが、落札率が58.66%と非常に低いため、品質の確保ができていないかを含めて詳しい入札状況を知りたい。

(答) 遊具広場にコンビネーション遊具を設置する工事であり、直接工事費に係る製品の割合が高かったため、最低制限価格を設けておらず、製品調達という意味で企業努力が働いた結果、落札率が低くなったと考えている。工事には、施工計画書、材料使用願い、工程管理表などを提出してもらい、工事後の検査にも合格していることから、品質に問題はないと考えている。

(問) 遊具のメンテナンスはこの業者が行うのか。

(答) メンテナンスの必要があれば、入札を行って業者を決めることになる。

(問) 指名競争入札による土木工事だが、落札率が98.51%と非常に高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 駐車場改修工事で15者指名したが、8者が辞退し、4者が不参加、応札したのが3者であった。応札が少なかった理由としては、必要最小限の面積でアスファルト舗装を施工しようとしたため細かい作業が必要であったこと、既設の縁石や防護柵を取り外し使い回すこととしたため慎重な作業を要したこと、図書館は開館中であり利用者の安全を配慮しての作業が必要だったことが挙げられる。このような結果として、比較的落札率が高くなったと考えている。

※ 次回の委員会は、平成31年2月28日(木)に開催することとなった。